

(1) 会合の概要

- 日程・場所** : 平成30年11月16日(金)～11月20日(火)、ジュネーブ
- 検討事項** : 電気自動車(EV)用ワイヤレス電力伝送(WPT)に関する報告書等について審議。
- 参加者** : 米、加、英、蘭、露、中、韓等から約90名が参加。日本から総務省、東芝等計7名が参加。

(2) 主な結果

EV用WPTに関する検討(課題9.1.6関連)

- 本課題では、WRC-15でWRC-19の準備のための緊急研究とされ、EV用WPTからの無線通信業務への影響評価と無線通信業務への影響を最小限にする周波数範囲を検討している。
- WP1B会合では、RRにおける規制論といったWPTの周波数管理手法とEV用WPTからの無線通信業務への影響評価に関する新報告草案(SM.[WPT.SPEC.MNGM])の作成作業が進められている。
- 当該文書のタイトルと内容を一致させる観点から、文書構成等を見直すこととなり、EV用WPTからの無線通信業務への影響評価に関する新報告草案(ITU-R SM.[WPT-EV-IMPACT])と、WPTの周波数管理手法に関する新報告草案(ITU-R SM.[WPT-REGULATION])に向けた作業文書のエレメントに分離された。
- 次回会合では、ITU-R SM.[WPT-EV-IMPACT]について、用語の意味の明確化や不足データ(EV用WPTからの放射レベル等)の追加、本文及びANNEX(各国における影響評価の詳細情報等)の作成・更新等を行い当該報告の完成を目指す。
- ITU-R SM.[WPT-REGULATION]については、現行のRRにおけるWPTの位置づけや各国の規制状況等が記載されるものであるが、適切な周波数範囲の特定に大きく関わる影響評価の報告作成を優先させるため、議論が行われず、次回会合で議論されることとなった。

(3) 今後のスケジュール

SG1ブロック会合: 2019年5月28日～6月7日(ジュネーブ)